

TOHATSU

PARTNER

2010年4月8日発行／春号

VOL.81



PHOTO:長野県飯山市にて

CONTENTS

- | | | | |
|-------------------------------|------|-----------------------------|-----|
| ●下田海上保安部から感謝状…………… | P2 | ●東京荒川区に「V10F1-D」86台納入…………… | P6 |
| ●八戸市にVF53AS-T搭載の積載車納入…………… | P2 | ●千葉県旭市へ水槽付固定配管積載車納入…………… | P6 |
| ●上野原市へ総務省消防庁資機材車両を納入…………… | P3 | ●西予市へ「VC62BS」7台納入…………… | P6 |
| ●一色町消防団佐久島分団に軽四駆消防車納入…………… | P3 | ●和歌山県有田川町に「VC82BS」8台納入…………… | P7 |
| ●2010ジャパンインターナショナルボートショー…………… | P4～5 | ●各地の消防団員が続々と駒ヶ根工場見学…………… | P7 |
| ●2010新潟ボートショー…………… | P4 | ●トーハツマリーンが消防団協力事業所に…………… | 裏表紙 |
| ●海上保安部に「探サー」を納入…………… | P5 | ●商工会議所板橋支部が優秀な青年技術者を表彰…………… | 裏表紙 |



トーハツ株式会社

<http://www.tohatsu.co.jp>

下田海上保安部がトーチハツに感謝状授与



昨年12月15日(火) 20:45 下田港の南約10^{キロ}の海上で、カンボジア船籍の貨物船「LANA号(1272トン)」が座礁。沈没の恐れがある貨物船の船体救助活動が、昼夜を通して行われましたが、その排水作業に当社製可搬ポンプが使用されました。

可搬ポンプの応急修繕作業を防災営業部防災課の志津川係長／業務課の高橋主任が6日間作業を実施し、船体救助活動に貢献。海上災害を未然に防止することが出来ました。

平成22年1月20日(水)下田海上保安部様に於いて、感謝状の授与式が開催され、当社の「高い技術力」と「強力な組織力」が高く評価されましたことをご報告いたします。

(防災営業部)



八戸市に VF53AS-T搭載の 積載車納入

平成21年に市制施行80周年を迎えた青森県八戸市へ(社)日本消防検定協会による可搬消防ポンプ積載車受託試験に合格した4ストロークVF53AS-T搭載の積載車2台が納入されました。

納入前日は記録的な豪雪となりましたが、この日は天候もやや好転。配置式の後の納入説明では4ストロークの低騒音や操作性に高評価を頂きました。

ご採用頂きました八戸市の関係者様、販売にご尽力頂きました(有)丸栄消機様並びに互光産業(株)様には厚くお礼申し上げます。

(防災東北/中島)



全国に先駆け山梨県上野原市に 「総務省消防庁資機材車両」を納入



晴天に恵まれた
去る3月17日、山梨
県上野原市消防本
部にて全国67台の
先陣を切って「総務省
消防庁資機材車両」の納
入が行なわれました。

今回の車両は、総務省消防庁が全国各地の消防団に貸与するものです。車両には、環境に優しい4ストロークエンジンポンプのVF63ASを搭載。また、消防団も消火活動だけでなく多様な救助活動が行えるよう、エンジンカッターやチェーンソー、AEDなども搭載された救助資機材搭載型の車両です。

上野原市の納入式では、消防署担当者による検収が実施され、その後消防団員への取扱い説明が行われました。まずは、現地いすゞディーラーより車両について説明があり、その後(有)中村ポンプ工作所様と当社より救助資機材やポンプについて取扱い説明を実施しました。最新型の4ストロークポンプや救助資機材、車両の取扱い説明とあって、中にはメモを取られる団

員もいるなど、皆様は熱心に説明を聞いていました。最新型の資機材を搭載した車両であり、総務省消防庁に深く感謝されました。今回納入された車両が、全国各地で消防団活動の最前線として活躍することをご祈念致します。また、納入にご協力頂きました特約代理店・販売店の皆様には厚くお礼申し上げます。

(防災中央/伊藤)



一色町消防団佐久島分団に 軽四駆消防車 2台を納入



去る1月26日、一色町消防団佐久島分団に軽四駆消防車2台が納入されました。当地は離島のため納入時には台船に車両を載せての搬入となりました。消防署がないため、消防・防災活動は全て消防団が担っています。取扱い説明時には団員の皆様は熱心に耳を傾け、コンパクトな車体に充実機能を詰め込んだ消防車で、島の入り組んだ路地での消防活動に役立ちそうだと大変喜んでいただきました。

納入に際しご協力いただきました一色町消防団の皆様、山佐産工(株)様には厚くお礼申し上げます。

(防災中部/福田)

景気の暗雲を吹き飛ばせ!

2010 ジャパンインター in パシフィック横浜



毎年恒例のマリン業界一大イベント、「2010ジャパン国際ボートショー」が不景気の暗雲を吹き飛ばすかのように、今年も華やかに幕を開けました。今年のトローハブースは例年確保してきた壁側の展示位置から一歩前へ出て、全方位から見渡せるレイアウトを採用しました。

舟艇部門にはTF-250SCのUVカットウィンドウオプション付モデルと、TF-21STの2艇を出展。時代のトレンドに合わせて21ft前後の手頃なモデルが流行りそうな昨今、我が社の読みが的中。早速TF-21STの御成約を頂きました。

また、エンジン部門には、TLDI直噴シリーズのラインナップに新たに加わったガスアシスト搭載モデルを始め、40馬力から115馬力までフルラインナップを展示。そのTLDIコーナーには参考出品として、今年発売予定のMD90C2と共にそのエンジンカットモデルを展示。普段見ることの出来ないエンジン内部の細部に至るまで惜しげもなく披露したことで、新しいモデルへの期待と注目を集めることができました。さらに、4ストロークシリーズは8機種を展示。扱いやすさを追求し、細部に渡り改良が加えられ使い勝手の良さに一段と磨きがかかった2馬力を始め、人気のインフレーターボートに相性抜群の5/6馬力、世界初となるバッテリーを必要としない電子制御燃料噴射装置を採用した25/30馬力など、きめ細

2010 新潟ボートショー

in 新潟産業振興センター From 2/27 to 2/28

今年で20回目という節目を迎えた新潟ボートショーが、新潟市の産業振興センターで開催されました。小雨が降る中、開場と同時にたくさんのお客様が来場。会場の隅々までお目当ての品を求めて見て廻っていました。

トローハブはTF-26SCW、TF-250SC、TF-21STの3艇と4ストローク船外機の2馬力、6馬力、9.8馬力、30馬力の4機種を展示。ブースレイアウトに工夫を凝らし、敢えてTF-21STを前後逆向きに展示、船に上がる階段も逆に向けることで動線を複雑にし、船より更に奥に置かれた船外機が多くのお客様をブースに呼び込み、人の動きを活かすことで賑わいを見せることができました。

不安定な天候にも関わらず昨年比110%の入場者数で盛り上がり、ボートショーシーズン最初のイベントを幸先良くスタートすることができました。来るべきシーズンインに向け、この勢いに弾みをつけたいものです。期間中御協力頂きました(株)マリン商事様に厚く御礼申し上げます。(マリン課/石丸)



ナショナルボートショー

From 3/4
to 3/7

かいラインナップでお客様をお出迎えました。

また、最終日にはメインステージにてチャリティーオークションが開催され、我が社からは免許不要小型ボート対応のMFS2BSを提供。オークションの大トリに登場しました。金子社長が自ら落札者に商品を手渡すためステージに上がり、会場の興奮も最高潮に。入札開始直後には我が社社員もここぞばかりに飛び入り参加し、会場を沸かせつつ盛況のうちに落札されました。

全体の来場者数は減少傾向にあったものの、船外機の成約数は昨年よりも増加し、シーズンの開幕に向けてまずまずの感触を掴みつつスタートすることができました。

(マリン課 / 石丸)



海上保安部に「探サー (TD-2)」を納入

去る3月12日「探サー (TD-2)」が、全国の海上保安部に17台納入されました。

探サーとは船体取付形的水中探査装置。機能に「GPS測位装置」、「超音波ソナー」、「水中カメラ」が標準装備され、水難事故や水中投棄物の探査に大いに役立ちます。

過去何度か海上保安庁に納入した実績があり、今回もぜひ購入を検討したいとの意向が示され今度の納入にいたりました。

完成検査では、実際に機材を動作させ使い方を確認。超音波が出ている箇所に手をかざし、モニターに映し出される様子を見て感嘆する検査官。製品に大満足しているように私には感じました。3

月12日付けで、北は北海道、南は沖縄まで17箇所に納入。全国で活躍できることを願って発送いたしました。

お忙しい中、完成検査の協力をしてくださった葵ソニック石井社長様、東京物産渡部様ありがとうございました。この場を借りて、お礼申し上げます。

(防災課 / 手島)



荒川区へ 「V10F1-D」 86台納入

東京都荒川区にトーハツ消防ポンプ「V10F1-D」が台車付で86台一括納入されました。

去る3月3日から3月12日の8日間で荒川区の各自治会に納入され、1台1台を各自治会にお届けするとともに、納入説明を致しました。自治会の皆様は、最新鋭の可搬ポンプが引き渡され大変喜んでいました。御採用頂いた同区の消防関係者、及び販売にご尽力頂いた東京物産様にはあらためて厚くお礼申し上げます。

(防災中央/田中(映))



千葉県旭市へ 水槽付固定配管積載車納入

千葉県旭市は九十九里浜の最北端に位置しており、夏季には海水浴客で賑わいを見せます。去る2月10日、4ストロークポンプVF63AS-T搭載の水槽付固定配管積載車が(株)吉田商会様を通して納入されました。4ストロークの採用は環境対応型と放水性能を満たしたポンプであることが市の意向であり、この度の納入で実現しました。また、水槽付ということで消防団の方は第一線で活躍出来ると期待し、今まで以上に訓練をしたいと張り切っていました。

同市の消防関係者及び販売にご尽力頂いた(株)吉田商会様、厚くお礼申し上げます。

(防災中央/田中(映))



西予市へ 「VC62BS」 7台納入

2月18日に西予市にてVC62BS 7台が納入されました。

愛媛県の南部に位置し、みかんの段々畑や太陽の光にあふれる西予市ですが、当日はあいにくの雨の影響で室内での納入となりました。納入には同市の消防関係者が多数出席し、(株)ヤマダの松本社長より、取扱い方法や保管時の注意事項などの説明が行われました。

性能や特徴の説明では、自動吸水機能やエンジン保護機能など新しいポンプを前に、関係者全員が熱心に耳を傾けていました。

この度の納入につきまして、販売にご尽力頂きました(株)ヤマダ様には改めて厚くお礼申し上げます。

(防災関西/田村)



有田みかんでお馴染みの和歌山県有田川町へ、この度「VC82BS」8台が納入されました。

有田川町は山間部が多く、中継送水が多く行なわれるため、国内最大級の高馬力ポンプ「VC82BS」の採用となりました。

山間部での長距離放水で威力を発揮するばかりでなく、2線放水でも十分な放水量が確保できることから、この地域の防災活動に役立ってくれるものと確信しています。

納入式後の放水テストでは消防団員一同、高馬

力・高放水量に大変ご満足され、高評価を頂きました。

最後になりましたが、トータツ可搬ポンプをご採用頂きました有田川町殿、並びに販売にご尽力頂いた(有)和歌山防火協会様には厚くお礼申し上げます。

(防災関西/山口)

和歌山県有田川町に VC82BSを 8台納入



各地の消防団員が続々と駒ヶ根工場見学に



冬将軍が猛威を振るった2月、岐阜県輪之内町消防団、京都府宇治田原町消防団、滋賀県東近江市消防団の皆様が、駒ヶ根工場見学に訪れました。最初に田中工場長・谷端副工場長より歓迎の挨拶があり、当社の概要説明の後工場内の見学が始まりました。

まず、船外機の製造工場内では部品の加工や組立てを見学。団員の皆さんには工場長の説明に耳を傾けながら細かな工程にしきりに関心を寄せていました。

次はポンプの製造工程や積載車の見学。こちらがメインということもあり、ポンプのデモの際には真剣なまなざしで見入っていました。操法最適ポンプのVC72PRO IIや、静粛性を極めた環境に優しい4ストロークエンジンポンプのVF53ASを実際に操作体験して頂きました。皆さん、VFの静粛性やPRO IIの吸水の



速さなど、最新ポンプの高性能ぶりに驚きの声を上げるなど約1時間半、充実した時間を過ごして頂いたのではないかと思います。

この度工場見学にお越し頂いた3消防団の皆様、誠にありがとうございました。
(防災中央/伊藤)



総務省消防庁より消防団協力事業所と認定



トーハツマリー株式会社は、このほど総務省消防庁から総務省消防庁消防団協力事業所と認定され、去る2月25日、東京都虎ノ門のニッショーホールにて、会社代表として三澤工場長が、消防団等地域活動表彰及び協力事業所表示証(ゴールドプレート)の交

付を受けました。

『消防団事業所表示制度』とは、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて地域防災体制がより充実されることを目的とした制度です。本年度の地域活動表彰では、全国で33団体の企業が受賞しました。

トーハツマリー(駒ヶ根地区)の従業員のうち約40名が、地域の消防団員として活躍しています。深夜の火災による消火活動、山林での捜査活動、

真冬の巡回警備など、会社勤務の傍ら日々地域活動に貢献されています。

これからの季節、操法大会に向けた練習が盛んになります。中には、早朝からの練習後、疲れた体に鞭打って勤務を行い、終業後にまた練習をする従業員もいます。

可搬消防ポンプにて出場される団員たちは、その練習成果を糧に今後は上位入賞を目指すことでしよう。

(TMC 総務課/大坪)



東京商工会議所板橋支部が 板橋区の青年優秀技能者・ 技術者を表彰 〔トーハツの古谷/増子の両氏が晴れの受賞〕



増子裕昭さん

古谷孝太さん

東京商工会議所板橋支部(会長/齊藤 裕氏)の平成22年新年賀詞交歓会が、去る1月21日、来賓者多数出席のもと東京・池袋のホテルメトロポリタンで行われました。

式典に引き続き第3回目を迎えた板橋区青年優秀技能者・技術者表彰が行われ、トーハツ(株)から駒ヶ根工場の古谷孝太氏、増子裕昭氏の両氏がめでたく受賞。板橋区の優秀技能者・技術者の榮譽に輝きました。

この表彰は、製造業に従事する優れた青年技能者や技術者を讃えることで、技能者・技術者としての誇りと意欲を高め、将来、板橋区の産業基盤を支える後継者として一層の技能・技術の向上を図ろうとするものです。この度表彰された両氏は可搬消防ポンプの製造に携わっており、高品質のポンプを供給すべく日々生産技術の研鑽に努めています。

受賞後二人は、そろって記念撮影。喜びを噛みしめていました。この度の受賞、誠におめでとうございます。

(総務部/千葉)

発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 若林 弘/小山 将